

2016  
**12**  
No. 154

# しゃっきー

11月1日オープン  
あんしんサポートセンターあつけし

■心と園 避難訓練を実施しました

■活動報告と会員の募集  
身体障害者福祉協会厚岸町分会

■創立50周年を祝い「記念式典」開催  
厚岸町老人クラブ連合会

■12月1日から歳末たすけあい運動が始まります

■ニュース&トピックス  
「トライベツ大収穫祭」ほか

■ボランティア通信「なかよし」  
「清水町災害ボランティアセンター」に  
職員を派遣」ほか



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です。



10月1日から全国一斉にスタートした赤い羽根共同募金活動。写真は、宇野日公園緑地まつり会場にて街頭募金を行なう厚岸町立高等学校の生徒。

# あんしんサポートセンターあっけし 11月1日オープン

認知症や障がいによる  
生活の困りごとの相談に応じて  
安心な暮らしをお手伝いします

厚岸町社会福祉協議会では、11月1日、あんしんサポートセンターあっけし(町成年後見実施機関)を、社会福祉センター内に開所しました。同センターは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な町民に対し、権利擁護の相談対応を行うほか、必要があれば、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用につながるなど、その方の安心な暮らしをお手伝いします。



## こんなことで困っていませんか？

物忘れがあって  
通帳をなくしてしまったり  
お金の管理ができない

訪問販売や悪徳商法の  
被害を受けているようだ・・・

自分の将来  
障がいのあるこどもの将来  
が心配だ・・・

『あんしんサポートセンターあっけし』では、  
こんな業務を行っています

### 相談・手続き支援

①判断能力に不安がある方の生活や財産に関する困りごとの相談に応じます。

②家庭裁判所に成年後見の申立てをする際に、必要な書類の説明や申立書の書き

方等の支援を行います。  
③必要な関係機関と連携し、相談者が安心して生活できるように支援します。

### 普及・啓発

④成年後見制度の理解を深めるための講演会や出前講

座を企画実施します。

⑤あんしんサポートセンターあっけしの役割や成年制度を知っていただくためのパンフレットを作成し、広く周知します。

### 市民後見人の養成

⑥判断能力が低下した方の生活を身近な立場で支援する「市民後見人」の養成研修を行います。

⑦養成研修の修了者に対し、継続的なフォローアップを行います。

⑧市民後見人候補者の登録・管理を行い、家庭裁判所に推薦します。

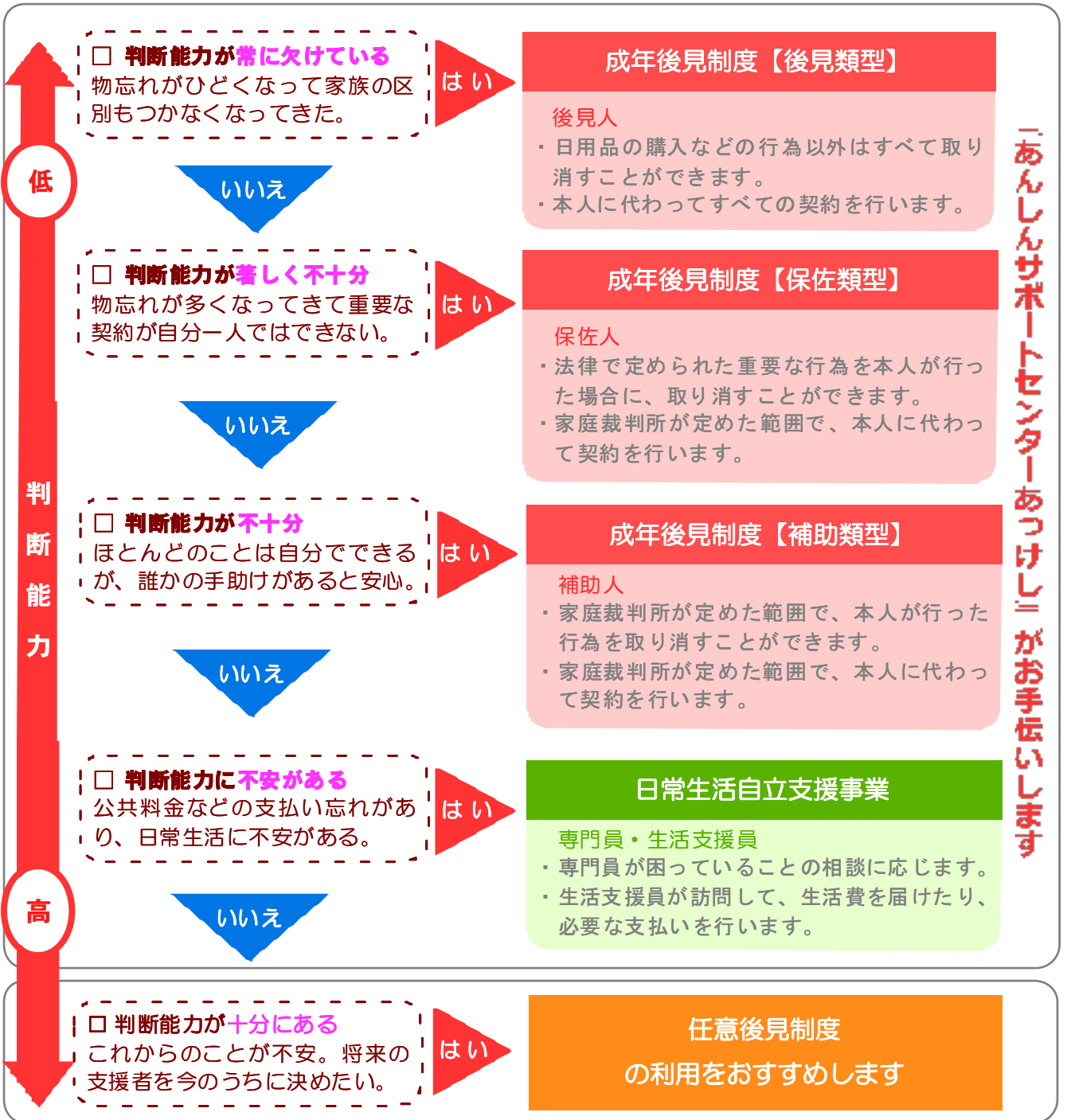
### 法人後見の受任

⑨家庭裁判所の審判に基づき、厚岸町社会福祉協議会が法人として、後見業務を受任します。

⑩市民後見人候補者として登録された方の中から、法人後見支援員として委嘱し、一緒に活動を担っていきます。

## 判断能力に応じた必要なサービスは

フォローチャートは、判断能力に応じた必要な制度を表します。上にいくほど判断能力が低く、下にいくほど判断能力が高くなっています。



☎ 0153-68-9955

厚岸町社会福祉センター内

厚岸町梅香2丁目1番地

〒088-1115 厚岸郡

内山)

あつけし(担当/奈尾・米

あんしんサポートセンター

### 問い合わせ

ことができます。

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

断能力に応じて、必要となる

継続した訓練が有事の際に役立つ

# 心和園 避難訓練を 実施しました

心和園では毎年、防災・避難訓練を実施しています。今年も2回の訓練を行いました。

一回目は7月に、実際に施設が火災などに見舞われた時、「職員はどのくらいの時間で集まることができるのか」という点から緊急時招集訓練を実施しました。



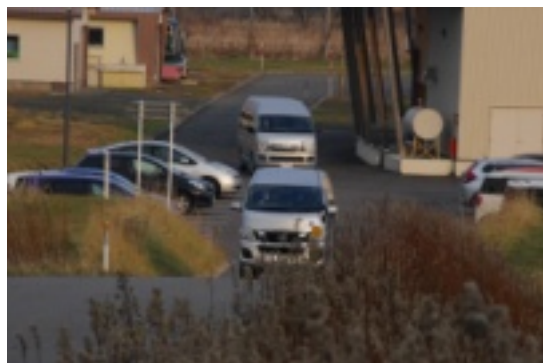
2回目は11月に、昨年同様、施設裏山への津波に対する避難訓練を、白浜自治会の協力を得ながら実施しました。

訓練終了後に、毎年改めて感じるの「実際に津波が起きた時に、はたして利用者全員を速やかに避難させられるか」という点です。短時間で職員の数倍の人数を避難させなければなりません。

有事に備えて、今後も職員一同気を引き締めて訓練実施に努めていきます。

自己に車  
担白浜山に  
を白裏山に  
役たをた  
者だ員を  
利用の会  
[上]いたの  
て治会さ  
避難乗車  
難両に中

[下]施設車両にて裏山に避難している様子



[下]ベッド横に設置する利用者の私物を保管する床頭台も併せて購入されました



## 利用者の生活環境を改善するために 心和園 床頭台とベッド が新しくなりました

開設より30年以上経過した心和園では、毎年利用者の生活環境を改善すべく、施設の修繕や備品の入替えを行っています。

今年、平成28年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の活用により、電動ベッド22台と床頭台50台が新調されました。

床頭台は、従来の寒々しいステンレスの台から、木目調の温かみがある機能性も向上した台となっております。

電動ベッドも、さまざまな機能を有しており、介護を受ける側、介護する側両方にとって有益な物となっております。

[下]このたび新調されたベッド



一度にすべての改善は困難ですが、このように少しずつの積み重ねにより、利用者の生活環境の改善に努めていきます。

## 笑い声いっぱいの一週間

# デイサービスミニ運動会

在宅老人デイサービスセンターでは10月17日～21日にかけてミニ運動会が行われました。

チーム力を合わせて行う、お玉リレーと傘玉入れ、各チームから立候補や推薦で

出場する、大人気の昆布まきまきゲーム、ねらってねらってホールインワン、まめまめ移しゲームなど、それぞれの競技で多くの方が一生懸命に参加、チャレン

ジしていました。

応援の掛け声や笑い声でいっぱいの一週間、利用者全員が、参加することができました。



[上]選手宣誓！がんばるぞ！！



[右]傘を目がけてボールを投げる傘玉入れ

## 「活動報告」と「会員の募集」 身体障害者福祉協会厚岸町分会

### ○町外研修旅行

身体障害者福祉協会厚岸町分会では、他市町村に出かけることで見聞を広げ、普段地域に閉じこもり気味な障がい者の社会参加の場を作る目的で、町外研修旅行を行っています。今年初の試みで2泊3日とし、富良野・旭川・網走方面へ行ってきました。

中でも旭山動物園では、間近で見るペンギンやアザラシ、縦横無尽に動き回るチンパンジーなど、動物の生態に触れることができ、とても有意義な時間となりました。宿泊先の網走の温泉宿では、車いすのまま入浴することができ、参加者全員で温泉を堪能することができました。

### ○会員の募集しています

身体障害者福祉協会厚岸町分会では会員の募集して

います。分会では、この町

外研修旅行の他に「鶴居村分会との交流会」や「新年のつどい」「剣身協の会員研修」など楽しい行事がたくさんあります。障害者手帳を持っている方はもちろんですが、分会の趣旨に賛同し入会する「賛助会員」も大歓迎です。詳しくは、分会事務局まで連絡ください。

### 【連絡先】身体障害者福祉協会厚岸町分会事務局

☎5217752(担当/柏木)

[下]ホテルラヴニール(美瑛)



[上]アザラシと一緒に



[上]旭山動物園内を散策



[上]美瑛ぜるぶの丘

# 創立50周年を祝い『記念式典』開催 厚岸町老人クラブ連合会

## ■記念式典

去る10月20日(木) 社会福祉センター大ホールにおいて、厚岸町老人クラブ連合会創立50周年記念式典・記念講演並びに記念祝賀会が行われ、110名の会員が参加し、終始和やかな雰囲気で盛会のうちに終了しました。

老人クラブ連合会は、昭和38年「老人福祉法」制定を受け、厚岸湖を境に湖南地区3クラブ、湖北地区9クラブ計12クラブの連合組織として、昭和41年5月23日に設立され、今年で50年を迎えました。

酒井連合会会長は、「まだまだ高齢者が増加する超高齢社会で、会員相互の親睦・交流を目的とし、各単位クラブが中心となり、社会奉仕活動への積極的な取り組みを始め、文化活動を通じた生きがい・仲間づくりや、

地域福祉増進のため今後とも努力と精進をすることが、

連合会の継続・発展に繋がると挨拶しました。

記念式典では、連合会の正副会長や理事を歴任された方8名に特別表彰と単位クラブにおいて5年以上役員を務めた方18名に会長表彰を、また、感謝状を三浦映貴氏に贈呈しました。

記念講演は、講師師神田織音氏による講演を開催。古典講談を皮切りに、認知症や振り込め詐欺などの講話は参加者にとって身近な話題であり、成年後見制度を踏まえた講話は、心に響く内容でとても有意義な時間となりました。

午後から行われた記念祝賀会では、参加者全員で会食しながら歓談し、創立50周年を祝いました。

## ■特別表彰(敬称略)

大平哲夫、前田信智(第二真老会)、北川政男(山の手親友会)、室井忠愛(光栄さくら会)、堀ヤス(第三高砂会)、池田敬治(尾幌長生会)、布川喜代治(住の江老人クラブ)、林勇治(宮園中央老人クラブ)

## ■会長表彰(敬称略)

葛西松子(上尾幌老盛クラブ)、藤ヶ森成子・小野八重子・小野欣吾(第三高砂会)、一家トミエ・中嶋トキ子・大門桂子・永田和子(奔渡弁天友の会)、八幡正治・山根チヨ・福井ナツ(光栄さくら会)、佐田菊男・菅原進(白浜ちどり会)、片岡光勢・竹内トヨ・堀田英一(第二真老会)、長島悦子・徳田代志江(住の江老人クラブ)

■感謝状(敬称略)  
三浦映貴(天道療法院玉川園院長)



[上]50周年を祝う会員のみなさん



[上]神田織音氏の講演



## ■記念誌を発刊

厚岸町老人クラブ連合会では、創立50周年を記念して、記念誌「厚老連50年活動のあゆみ」を発刊しました。

編集するにあたり、基礎資料が少なく、一部不詳の部分ではありますが、これまでの活動や単位クラブの歴史などを盛込んだ充実した内容となっています。

この記念誌は会員全員に配布しましたが、在庫がありませんので、ご希望の方は事務局まで連絡ください。

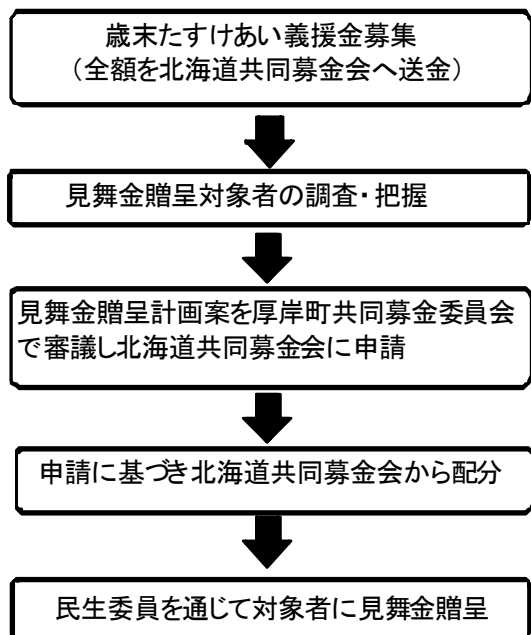
厚岸町老人クラブ連合会  
事務局(厚岸町梅香2-1)  
☎52-7752担当/柏木

# 明るい気持ちで新年を

## 12月1日から 歳末たすけあい 運動が始まります

赤い羽根共同募金運動は、10月1日から12月31日まで全国一斉に運動を展開していますが、12月1日からは、「みんなので支え合うあつたかい地域づくり」を合い言葉に歳末たすけあいを進めています。

### ◆運動の流れ（フロー図）



今回は、歳末たすけあい運動のしくみを紹介します。

### 助成対象と方法

地域のみなさんから寄せられた寄付金と前年度からの繰越金を財源に、中立的な立場の厚岸町共同募金委員会審査委員会で対象範囲や1件あたりの見舞金額の審査を行い、全額を、重度の障がいを持ちながら在宅で暮らす方に、少しでも「明るい気持ちで新年を」迎えられるよう、民生委員を通じて、義援金を贈呈しています。

■義援金目標額  
185,000円

■運動の流れ  
上のフロー図参照

### 義援金の受付

厚岸町共同募金委員会では、12月1日から歳末たすけあい義援金を受け付けます。

義援金をいただいた方、団体は社協広報誌しやつき2月号で事業報告と併せて掲載します。

歳末たすけあい運動に関する問い合わせがありましたら、厚岸町共同募金委員会（事務局・杉本）☎5217752まで連絡ください。みなさんのご支援・ご協力をお願いいたします。



■運動期間  
12月1日から31日までの1ヶ月行われます

■受け渡し期間  
担当地区の民生委員を通じて、12月22日以降に予定しています

### 熊本・大分県地震、道内台風被災者に寄せられた義援金を送金

4月に熊本県・大分県で発生した地震、8月中旬以降に北海道に上陸した台風により、人的被害や家屋の倒壊等で被災された方々を支援するため、町民の皆さんに募金協力をお願いし、

総額153,366円の義援金が寄せられ、北海道共同募金会に全額を送金しました。この義援金は、義援金配分委員会により配分先が決定され、全額が被災者へ見舞金、生活再建資金と

して配分されます。皆さんの心あたたまるご協力ありがとうございました。

なお、熊本県への義援金は、平成29年3月31日まで引き続き募集しています。



[上]ひと通りの練習を終え、車いすに慣れたところで、ゲームを楽しむ生徒たち



[左]こう福祉21の喫茶コーナーで、一生懸命お手伝いをする学生ボランティアたち

[右]みんな仲良く修了を迎えることができた介護職員初任者研修の受講者たち



## 障がい者スポーツで学ぶ 厚岸中学校車いすバスケットボール体験

厚岸中学校は、10月18日、同学校の体育館で車いすバスケットボールを体験しました。この体験は、授業の一環として、釧路市の車いすバスケットチーム「FREEZZ(フリーズ)」の協力のもと実施。障がい者スポーツを通して、当事者の気持ちやハンディを超えたスポーツの楽しさを学びました。

生徒たちが、普段見ることのないバスケット専用車に乗り、リレー競争、ドリブル、シュート、ゲームと順番に体験。車いすからのシュートでなかなかゴールまで届かない横で、フリーズメンバーが簡単にシュートを入れる姿に、生徒たちが惹きつけられていたのが印象的でした。

## 障がいへの理解を深める 障害者(児)ふれあいフェスティバルこう福祉21

厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」が、11月6日、社会福祉センターで、多くのボランティア協力のもと盛大に開かれました。

障がいに関わりのある活動を紹介する「ポスターセッション」や「福祉壇上発表」のほか、視覚障害の誘導を体験するコーナー、真龍中学校生徒が動きや表情で表現するパントマイムなど、さまざまなイベントを通して、障がいへの理解を深めました。

こう福祉21では、イベントスタッフの多くがボランティアで、その中の学生ボランティアは、参加者たちの憩いの場の喫茶コーナーで、お茶やコーヒーを提供するなど活躍しました。

## 全員が無事、閉講式を迎える 介護職員初任者研修

厚岸町社協の主催で、7月4日より開催してきた介護の入門的資格となる介護職員初任者研修ですが、約4ヵ月間の講義や実習を終え、無事11月9日をもって閉講式を迎えることができました。

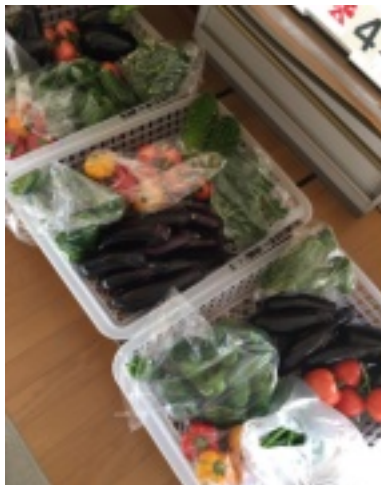
今年は、4名と例年より少ない受講者でしたが、受講生の皆さんは熱心に取り組み、それぞれ仕事や学業の忙しいなか、結果ひとりの脱落者もなく、最終試験も全員一発合格することができました。

今後は、介護分野の有資格者として、それぞれの仕事や生活の中で福祉の専門性を活かし、自信と自覚をもって活躍してくれるよう期待しています。



# [ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします



[上]オークションにも出品された地元でとれた新鮮な野菜のセット

[下]大会の男女優勝者、日浦静さん(写真右)、村上美代子さん(写真中央)



[上]大野社協会長がリングで寄付金を受け取りました

## オークション益金を寄附 トライベツ大収穫祭

第12回トライベツ大収穫祭が10月1日、地元トライベツ集会所で行われ、地域住民や関係者らで実りの秋を楽しみました。

収穫祭は、地域住民が一丸になって毎年行われるもので、台風の上陸や長雨の影響で農作物の育成が悪く、一時は例年のような開催が心配されましたが、当日は、自家野菜たっぷりの豚汁の提供や、ジャンボかぼちゃ重さあてクイズ、出品野菜のチャリティーオークションなど、さまざまなイベントを無事実施することができました。

チャリティーオークションでは、出品された地元の野菜が会場の盛りあがりと一緒に値が上がり、そこから集まった益金24,600円が社協に寄付されました。

## 募金しながらプレイを楽しむ チャリティーパークゴルフ大会

厚岸町社協では、10月2日に、宮園運動公園パークゴルフ場で赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会を開催しました。

当日は、秋晴れの中、男女あわせて54名が、プレイを楽しみながら募金協力を行いました。閉会式では、男女別の上位5名、福祉(294)賞として24位、29位、42位、49位、ブービー賞に秋刀魚等の景品を用意。当たった方は嬉しそうに受け取っていました。

募金箱に集まった54,737円は、後日あらためて、大野社協会長から厚岸町共同募金委員会の佐々木会長に手渡されました。

参加されたみなさん、協力いただいた団体のみなさん、ありがとうございました。

## 熱烈なファンで盛り上がる 大日本プロレス厚岸大会

10月6日夜、グレート小鹿会長率いる大日本プロレスのチャリティー興行が、社会福祉センターにおいて開催されました。

会場には、熱烈なファン約200名が詰めかけ、激しいファイトに熱い声援を送っていました。

グレート小鹿会長は、以前より日本全国で植樹活動にも取り組んでおり、厚岸町内でもこれまでに多くの植樹を行っています。

今回は、チャリティープロレス興行として試合の合間に、大野社協会長に、寄付として興行収入の一部が手渡され、会場からは暖かい拍手が送られました。この寄付金は地域福祉に活用させていただきます。

# テレビ電話でコミュニケーション ハートコールを利用しませんか

厚岸町ボランティアセンターでは、ひとり暮らしの高齢者など、地域で孤立しがちな方々が、安心して暮らしていけるようにサポートする、ハートコール事業を行っています。

この事業は、テレビ電話を利用して、厚岸町ボランティアセ

ンターに登録している傾聴ボランティアが、利用者に定期的に電話をかけ、コミュニケーションを図りながら、健康状態や生活状況などの安否を確認します。

心配事や気になる事を相談できる機会にもなりますので、ぜひ利用ください。



利用申込み、お問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。

## ■対象者

町内在住で65歳以上の高齢者及び身体障がい者手帳の交付を受けている方。

## ■利用可能日

平日（祝日と12月31日～1月5日を除く）午前または午後で複数回利用できます。

## ■利用手続き

- ①申請者の個人情報、身体状況等について利用申請書を記入していただきます。担当が訪問し、説明に訪問する場合があります。
- ②申請者の要望を聞きながら、サービスを受ける頻度と時間帯を決定します。

## ■その他

震度4以上の地震や風水害等が発生した場合、安否確認の電話をすることがあります。

## ■連絡先

厚岸町ボランティアセンター  
（担当：杉本）  
電話 52-7752

## あっけし子育てサポートセンターからのお知らせ

# 親子の交流ファミリーサポート交流会

11月19日（土）、第1回ファミリーサポート交流会を厚岸町子育て支援センターで開催しました。

ファミリーサポートとは、一時的に子どもを預けたい・預かりたい人で構成される会員制の組織で、地域の中で子どもを気持ちよく預ける・預かる環境が生まれるよう支援活動を行っています。

この交流会は、会員家族はもちろんファミリーサポートの活動に興味をもっている方も参加可能で、今回も会員外の二家族の参加があり、交流を持つことができました。みなさんの自己紹介のあとは、子育て支援セン

ターの先生によるアンパンマンの劇や手あそびがあり、子どもたちは大喜びでした。



また、今回初めての試みとして会員研修を開催し「つかう・貯める・活かす～子どもと家族のマネープラン」と題して講師を招き、保険の仕組みやお金を活かすワザなどを話していただ

き、参加されたみなさんは家族の将来のため、講師の話に真剣に耳を傾けているのが印象的でした。

楽しい時間はあっという間。次回は3月に開催予定です。



## ■問い合わせ

あっけし子育てサポートセンター  
（担当：柏木）  
電話 52-7752

# なかよし

厚岸町ボランティアセンター  
088-1115 厚岸町梅香2丁目1番地  
TEL 0153-52-7752  
FAX 0153-52-6044

## 大規模災害発生後に設置される 災害ボランティアセンター

## ボランティア活動編②

今回は災害ボランティアセンターが設置され、ボランティア活動の種類とセンターの関わりを紹介しました。

今回は、災害発生後に私達住民にできるボランティア活動を紹介します。

町災害対策本部が設置される規模の大規模災害が発生した場合、日常生活もままならない状態の中でも、被災した方や避難した方もできることがあります。



### 私達にできる活動

#### ■炊き出しの手伝い

器具、材料、人手が足りない場合があります。

カセットコンロ等を持ち寄ったり、調理を手伝うことが求められます。

#### ■高齢者、障がい者の介護補助

歩行にふらつきがある高齢者、身体障がい者の誘導などを手伝います。

#### ■物資の運搬及び配分

職員と一緒に、在庫や寄せられた物資運搬の手伝い、物資の配分などを協力します。

#### ■ボランティア活動支援

被災者にとって必要な活動（家の周りの清掃、家財道具の移動、家屋からの泥出し等）を行います。

※ボランティア登録方法、求められる活動内容は、しゃっきー10月号に掲載しています。

## 清水町災害ボランティアセンターに職員2名を派遣

8月末に発生した台風10号により、上川南部・十勝地方は甚大な被害がもたらされました。

特に被害の大きかった南富良野町の9月1日を皮切りに、1週間以内に清水町、芽室町、新得町と、次々と災害ボランティアセンター（以下災害VC）が立ち上げられました。

災害VCは地元社会福祉協議会を中心に運営されますが、道内市町村社協に対し、職員の派遣協力が求められ、厚岸町社協

では2名の職員を交代で9月16日から9月24日に渡り清水町に派遣しました。

基本的な仕事は、被災者からの拾い上げたニーズを、日々参加してくれるボランティアに振り分ける作業ですが、最も多い日では1

00名近いボランティアの活動をコントロールしなければならず、「もし厚岸町で災害が発生



【上】 災害支援に行った清水町での活動のようす。泥だし作業で積みされた土のう袋

したら」ということを念頭に運営協力を手伝い、とても貴重な体験を得ることができました。



## 編集後記

■今年も気が付けば、もう12月。一年の経つのは本当に早いものです。今年度もベッドなどが新調され入所されている利用者様の生活環境は少しずつ改善されてきていますが、建物自体の老朽化も否めません。来年あたり「建物の改修が…」と言う声が聞ければと思う今日この頃です。(井口)

■団塊世代が75歳以上となる2025年。認知症を患う人の数が700万人を超えるとの推計も発表されています。65歳以上の高齢者のうち「5人に1人」が認知症に罹患する計算。11月に開所した「あんしんサポーターセンターあつけし」は、これらの問題に向き合っていきます。(米内山)

## 厚岸町社協広報誌

# しゃっきー

2016. 12/No. 154

【編集】 広報委員会(以下、委員)  
奈尾 和哉 五十嵐愉美  
米内山紘輝 大澤 雅己  
杉本 裕樹 井口 新一  
柏木由起子 小笠原晶子

### 社会福祉法人

### 厚岸町社会福祉協議会

〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地

厚岸町社会福祉センター内

TEL 0153-52-7752

FAX 0153-52-6044

mail info@akkeshishakyo.or.jp

URL http://akkeshishakyo.or.jp/

# お知らせ情報

TEL 52-7752 FAX 52-6044

## お気軽に相談を 福祉中央相談所

民生委員が無料で福祉相談に応じます。秘密は守られますので安心して相談ください。

■日時/1月22日(火)13:30～15:00

■場所/社会福祉センター1A会議室

■相談員/民生委員(中野美津男・永堀善道・大平紀子)

■問い合わせ/社協総務地域課 ☎52-7752

## 帰郷・旅行などの際に 車いす・福祉用具貸出

帰郷や旅行など「ちょっと一時的に借りたい」といった場合に活用ください。車いすをはじめ福祉用具があります。

■貸出場所/社会福祉センター

■費用/無料

■その他/事前に問い合わせがあればスムーズに貸し出しできます。

■貸出備品/車いす、入浴用介護用品ほか

## 寄付・寄贈ありがとうございます(9月～11月)

【寄付金】▼特別寄付(福祉基金)/トライベツ自治会 24,600円(収穫祭益金から)、佐藤武志 18,104円、匿名 3,000円 ▼一般寄付/厚岸町商工会青年部 20,000円(チャリティーイベントから)、厚岸社交ダンス愛好会 20,462円(チャリティーイベントから)、橋本正雄 50,000円[心和園に]

【寄贈品】▼法人本部/大地みらい信用金庫厚岸支店～古切手、厚岸町教育委員会生涯学習課～古切手 ▼心和園/坂本ミエ～ポータブルトイレ、前田信智～タオル類、加賀浩一～タオル類、柿崎豊子～おむつほか、橋本スミ～タオル類、苫多漁協女性部～昆布ほか、門静女性部～ティッシュほか、上尾幌老盛クラブ～ティッシュペーパー、匿名～カラオケ機器一式

[敬称略]

## 職員紹介

### 新しい介護支援専門員(ケアマネジャー)が仲間入り



指定居宅介護支援事業所  
介護支援専門員

熊谷 重美

11月1日より、居宅介護支援事業所で勤務させていただいております熊谷(くまがい)です。釧路市の施設で介護支援専門員を約6年間しておりました。居宅介護支援の経験がほとんどありませんが、まずは厚岸町の土地と人に慣れていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。